

夢への 男女共同参画社会 挑戦

岩槻小学校「いちょうの会」

P T A活動への協力をはじめ、様々な活動を通してお父さんたちも子どもの学校生活にかかわりたい。そんな願いのもと、岩槻小学校の「いちょうの会」は、12年前、お父さんたちの自主的な集まりとして発足しました。会の名前は、岩槻小学校のシンボルであるいちょうの木にちなんで名付けました。

現在の会員はO Bを含めて41名。土日を利用して、入学式のアーチづくり、運動会やバザーの準備、ペンキ塗り、キャンプや施設見学など、毎年様々な活動をお母さんたちや学校の先生と一緒にしてきました。

ここまで続けてこられたひけつについて当時を知る会員の方は、「学校を開かれた場にしたいと、歴代の校長先生が賛同してくださったから、長い間続けてこられたのだと思います」また、みなさんに入会された動機についてうかがってみると、「子どもとふれあう時間がほしかった」「父親が働いている姿をみせたかった」「ほかの父親と知り合いになりたかった」などの声が聞かれました。取材に訪れた日はペンキ塗り活動。梅雨のあい間に広がった青空のもと、たくさんの親子が額に汗



このコーナーでは、様々な分野で「それぞれの夢」に挑戦している市民の方をご紹介します。今回は、岩槻区の小学校で、子育てを通して地域の仲間づくりに取り組んでいる2つの会の活動取材しました。

地域に広がる父親の輪 お父さんが主役です



岩槻小「いちょうの会」のみなさん



太田小「おやじの会」のみなさん

をにじませ、楽しそうに作業をしていました。(取材日 6月25日)

太田小学校「おやじの会」

一方、現在O Bを含めて51名の会員で活動を繰り広げている太田小学校「おやじの会」。日々仕事に追われているお父さんたちが、子どもとの楽しいひと時を過ごし、また自らの人間的向上をはかろうと、10年前に会を立ち上げました。

P T A活動への協力のほか、プロ野球観戦、バーベキュー、陶芸教室など、子どもだけでなく、父親同士のコミュニケーションが深まるような活動を多数取り入れてきました。

この活動を通して得られたことをうかがってみると、「子育ての悩みを共感してもらえる場ができた」「学校の様子ができるようになった」「子どもの友だちの顔がわかるようになった」「地域での交流の場が広がった」などの感想が聞かれました。

この日の活動は、ボランティアで指導をしてくださる専門家を招いて、そば打ち体験。エプロンを粉で真っ白にしながら、おいしいおそばを作ろうと、真剣な表情で取り組んでいました。

最後に、役員の方に今後の抱負をうかがってみると、「父親同士のネットワークやそれぞれが持つ特技を活かした企画をもっと取り入れていきたいですね」「継続がいちばん。孫の代まで、この会が続いていたらいいと思います」と語ってくださいました。(取材日 7月30日)



ゆ め 「You&Me~夢~」を よろしく!

合併に伴い、旧岩槻市発行の「クレヨン」に代わって、さいたま市男女共同参画社会情報誌「You&Me~夢~」をお届けします。

◎本誌へのご意見・ご感想は、男女共生推進課「You&Me~夢~」の担当へ。FAXやE-mailでも受け付けています。